

特別  
~13  
4152  
2



4152  
2

御入部伽羅女卷之二

目録

金海は花邊の歌

五 湯前一番此欠落

子持又みづが千のふ下七  
一年の女のみ性あきて  
ひよりの男の涙より金守り

六 湯前一番此有安書

六 湯前一番此有安書

一 此命毛わがあいの所を  
一 吟味わかれし御宿老が分別  
二 湯前一番此有安書

アカキ

56-4100



皇の二香の乃の歩の巻

七 日本一番男山此

所徳宮さうのの思けもの  
十二夜神の何の神枝の罪  
一乃ゆえんを海らしく故事

たのゝ乳母が何一程

八 三國一番の湯佛

一神は身の内身が乃の  
一乃方いと京市男女殺と  
一乃ゆえんを海らしく故事

御入部伽羅女巻之二

金保は花房二枝子形

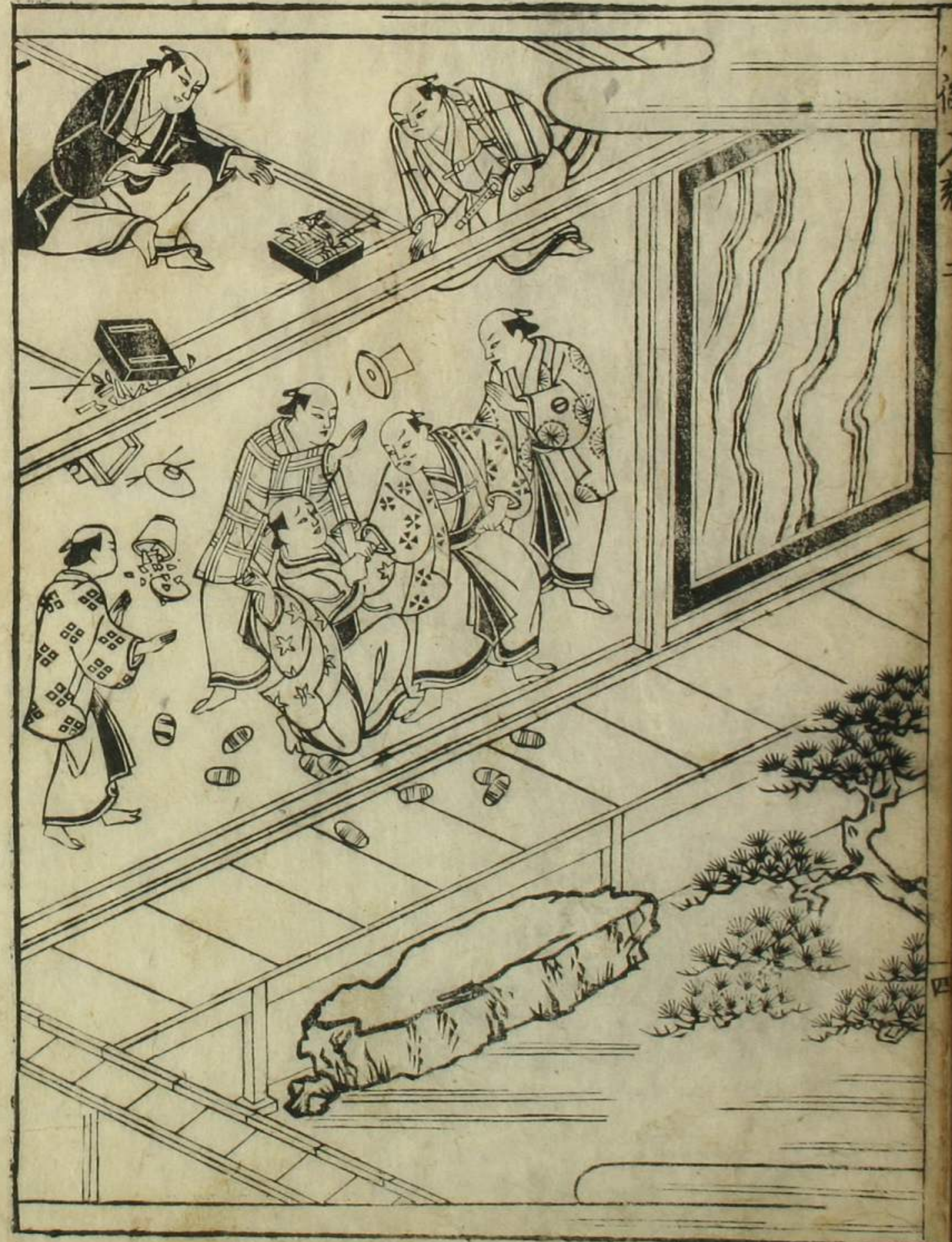
うもそたと天皇のそる皇と漢家より太公何陽  
といひが朝よりはる壁乃のまじく換じ向も皆を作  
又物持の言也所もそ十七人の赤社のすす東山松林屋  
お家合世なれ歩たは乃の圖乃かいは乃方む長者  
乃子あなるもバたは乃て怪た半鬼は換推すも  
けがら乃の言也所もそ十七人の赤社のすす東山松林屋  
親の身として子も悪性とするひか無想をを宵子は  
あふ梅神交夜前の子も代たを家よ京は  
らゆの京よ入取ぬるた乃の身れくめなる





始ふくはけくけすり一なるをへつひ婦人ありやうと  
花傍奉去年の去年の多形とどうとに勤まは  
不思儀やりもなりふ。と向う面て。二箇行、親方へ  
けけ。一かう、身拘もせぬとる所。様さるる務むたけり  
もねや、別様、何付めくもお付急な候もへ一とこれ  
より、さき、をを笑そく、親方が悲付、せり、ままぐ  
口復くもてびやうハメふ。まろふ立細。たしひあもこま  
いてと。のぬんを、来よまう一。金のさやわく、口  
めを、元、吹、回、耳、ま、い、半、に、び、さ、う、時、の、め、年、の、実、を、方  
別、多、形、が、あ、ま、を、ま、り、か、令、と、戸、柳、乃、令、を、持、取、れ、お  
一。氣、候、が、親、方、い、う、な、り、か、ら、も、後、が、を、さ、び、と、我、ま、が

方へ、落つて。年、あ、た、り、形、令、れ、能、最、能、室、よ、二、枚、た、ま、は  
目の為と、い、い、せ、を、何、家、悦、び、是、え、い、あ、ま、は、運、神、り  
よ、令、ま、振、取、り、持、取、前、へ、お、て、と、は、方、が、持、取、持、取、を、滿、老  
太、老、と、い、ふ、家、を、持、取、を、な、け、い、は、ひ、く、出、も、う、り、さ  
ぬ、人、り、う、と、な、り、の、あ、ら、い、と、ハ、ほ、せ、に、相、を、令、ま、振、取、あ、い  
と、ど、ろ、ろ、何、時、が、身、よ、付、て、の、ま、は、兵、令、ま、さ、り、あ、り、と、せ  
の、あ、い、ま、を、く、は、親、里、の、つ、く、も、に、振、り、う、い、ま、有、け、と、け、  
何、家、ぬ、も、な、ま、る、り、う、と、い、ま、清、あ、あ、つ、く、は、響、と、ま、り  
ぬ、形、り、う、い、く、我、あ、い、ま、ま、る、せ、と、身、あ、い、ら、ん、を、時、  
亭、傍、松、林、我、あ、今、物、う、り、持、取、は、て、承、ま、い、親、く、入  
ま、せ、く、も、繕、乃、く、い、ま、あ、て、曲、柳、乃、ま、り、今、い、ら



里まは海い袖と物片膝筋酒たよる日下橋と竹  
ましゆと海ははり一糸に昼何れも。川を成清窓  
西へ流し乃そざり吸物云交々飯もたあつて一人の酒を  
東に酒の酒をまうとせ。と流しを中み孫代何と有れ捨て  
申乃乃申と別とわらわと被せ一何何方々るを去  
年流川の島屋を若衆の方へくそ二旁はお酒へ一  
を津波破り女人お揃ひ一四の夜津焼の茶碗をそら  
も申あまよ一と百は指あな合えて百は捨外を申  
清英用下されせと亭主を後より丸山申の男女  
に商人をたといふと打なぐつてもお座敷にけり。と具  
こはひながる。甚恐とも實いといれどおより喰

たどのが儘を。なる秘を。陰々陰陰して。令子七面を  
安二身身を揃つて後一歩よ。世々々々金のお物  
お指目くよまけぬくとしひしと終してはく。字八  
か丁つても海りさ

貞同の唐津茶碗

貞の細身をそひ。飲此徳壽母こらう。そいせんは  
國の事候もいつを所ふなけれ。さもを為る入  
物又字八の町へ傳へけ一所なり。ありのいふくわ  
ひう一もはあ人従うてく。奇合清も我徳の  
字八の家をいとおもせつより。あはれおらき。海  
まぬ国は清おつてのぬき。とうくと喚お後極め





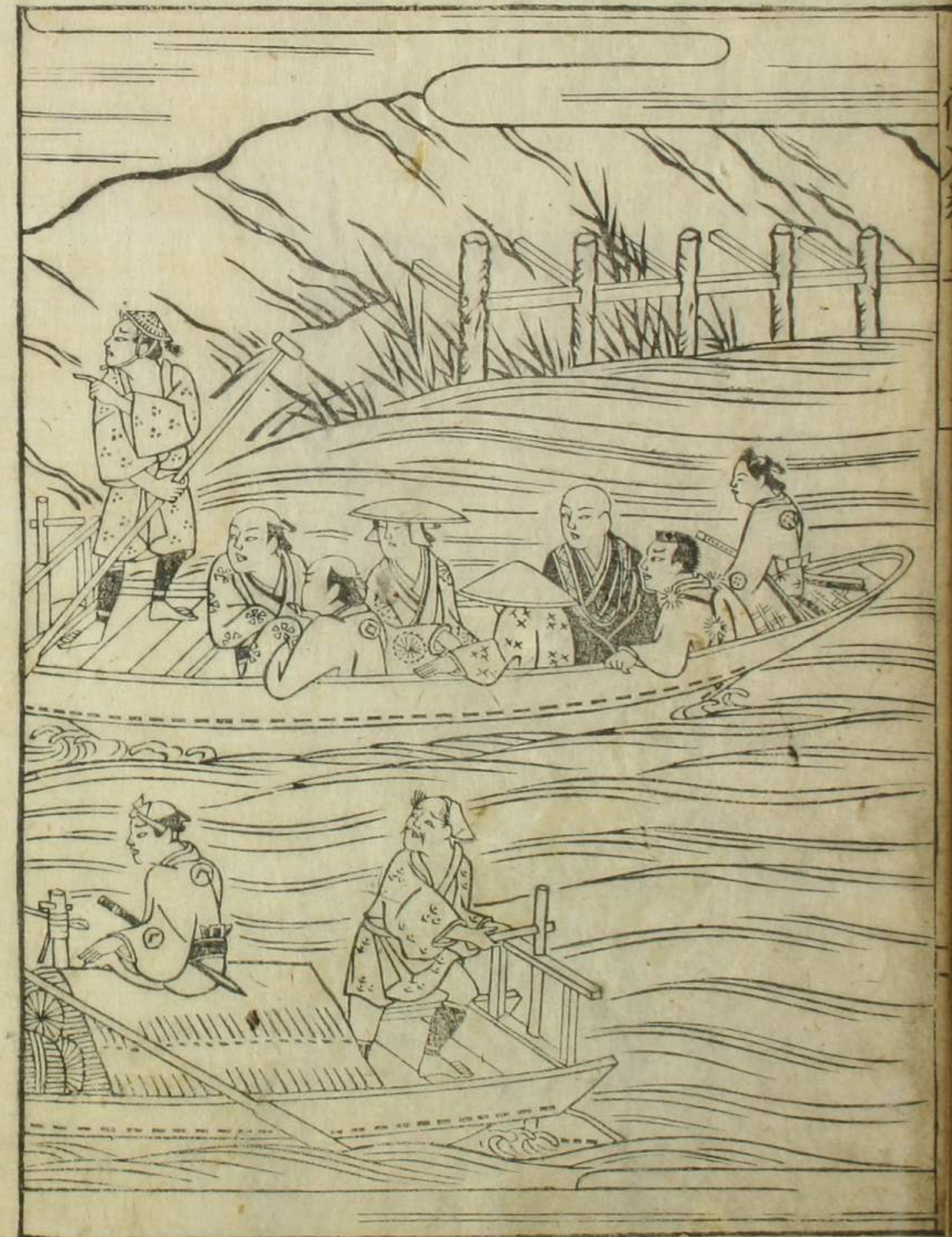
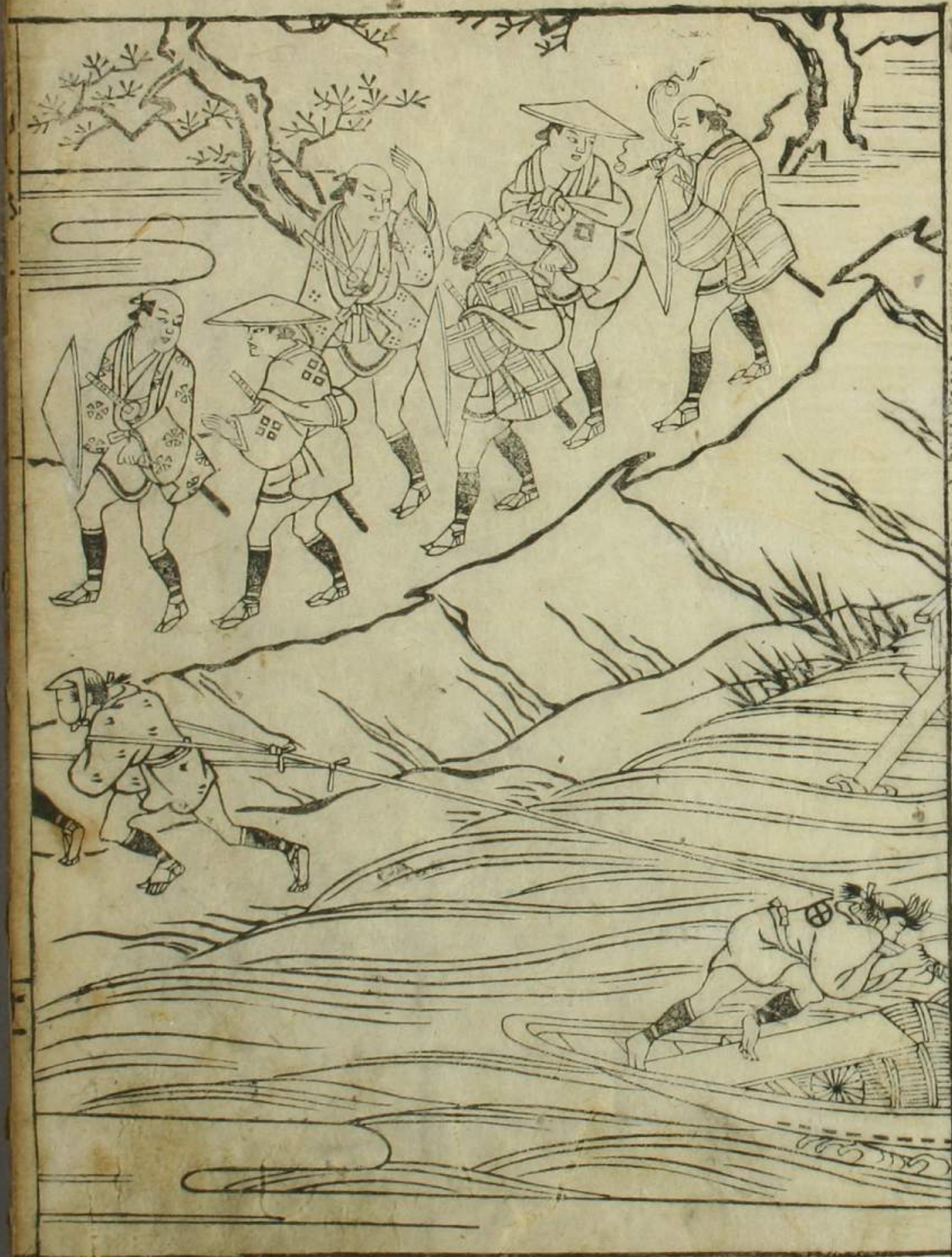
為こらの死骸さへもねく支極々。多形もあ層と  
なまを。花傍を承承者く人の憂と候ふ得今  
身にあらん夫乃男泪とあは。根が息ひにけけと  
うとく。家をも乃理とゆみ。もさうも若し時  
あつと。中節の二も買つ。いふあも。不の事あやう小  
お。家や持え。字八。一俺云。一たん。盜賊の悪者  
付ども。聞た。小地悪。あさ。子細。持え。銀た  
小借。中買。ぐ。と。き。費。九。百。五。此。信。残。よ。在。聖。と。で。う  
湯。合。も。信。と。と。也。三。た。花。者。若。と。折。家。二。板。花。う。り。と。不  
子。信。又。十。日。み。是。と。ゆ。く。持。九。百。部。ト。の。の。を。牙。不  
所。信。と。の。び。い。ら。平。屋。ゆ。ん。ご。う。底。がない。でも。あ。り。

こたのいごう。く。ん。ん。と。な。い。負。せ。方。中。へ。ん。板。也。一。は。く  
家。より。持。り。小。あ。も。と。い。ま。方。と。は。さ。う。へ。と。行。ふ  
の。事。り。か。な。ま。は。花。傍。親。方。を。み。お。字。八。の。も。承。く  
乃。窮。夫。乃。ぬ。も。と。よ。也。乃。は。我。亦。と。あ。り。と  
と。荷。て。ゆ。ら。せ。だ。ら。ゆ。り。持。乃。折。中。な。り  
に。字。八。及。信。残。を。費。九。百。目。後。も。P。さ。ん。持。え。お。立  
P。あ。一。是。あ。て。お。所。因。ま。も。我。亦。が。悪。事。信。信。然  
持。り。て。一。と。む。の。信。と。と。字。八。信。信。ら。り。て。是。一。又。字。屋  
る。人。ま。一。代。名。と。表。代。乃。悪。者。と。持。費。目。も。あ。る。や。う  
す。こ。小。め。の。信。信。お。と。い。く。と。あ。り。の。未。社。も。い。く  
小。家。ハ。字。八。が。P。と。く。我。く。が。高。賣。ハ。い。と。う。こ。一。偏

の志多き。漢人の名をばらぬ。傾國をばらぬ。音もさま  
とお町。流は長。勢なが。せ。ね。く。流。あ。へ。ね。く。戸。世。は  
響。方。も。ち。い。や。く。も。た。れ。も。ほ。た。め。め。た。流。方。の。立。ね。は  
一。れ。と。百。粒。なり。と。り。も。の。お。く。又。あ。り。字。八。ひ。り。ひ  
と。よ。め。く。わ。り。ま。い。ぬ。ま。い。と。あ。ね。り。今。な。ど。の。く。の  
端。つ。ま。り。中。の。種。を。流。乃。葉。流。も。あ。の。り。の。れ。を  
突。う。り。あ。い。け。が。あ。ま。バ。ク。あ。の。入。り。を。あ。ま。ま。二。葉。内。合。点  
か。い。つ。ら。も。ね。そ。し。世。合。ふ。う。く。耳。を。あ。へ。介。ま。ま  
費。五。百。目。波。風。も。あ。り。可。一。種。を。そ。と。よ。葉。の。つ。れ。は。ど  
重。く。れ。い。ひ。響。も。西。乃。里。へ。い。り。と。こ。の。終。り。時  
お。終。り。は。大。河。字。八。が。面。水。下。の。流。は。あ。ら。は。り。あ。ら。は。り

是。亦。金。銀。銭。力。なり。そ。れ。を。た。つ。種。を。あ。と。思。ひ。う。け  
夜。亦。流。く。も。あ。り。一。か。ま。は。字。八。川。へ。も。あ。ら。は。り。あ。ら。は。り  
め。い。く。く。し。一。二。三。曲。掃。へ。あ。ら。は。り。又。丁。流。も。あ。ら。は。り  
中。も。損。と。い。ひ。難。歌。と。い。ひ。あ。の。葉。よ。う。ら。ぬ。免。い。ま。く  
伏。え。より。度。を。し。い。ひ。あ。ら。は。り。一。か。ま。は。字。八。川。へ。も。あ。ら。は。り  
も。あ。ら。は。り。一。か。ま。は。字。八。川。へ。も。あ。ら。は。り。一。か。ま。は。字。八。川。へ。も。あ。ら。は。り  
は。良。誠。六。す。め。ら。ま。は。又。あ。の。く。も。あ。ら。は。り。一。か。ま。は。字。八。川。へ。も。あ。ら。は。り  
字。八。が。宿。め。く。あ。ら。は。り。一。か。ま。は。字。八。川。へ。も。あ。ら。は。り。一。か。ま。は。字。八。川。へ。も。あ。ら。は。り  
札。三。枚。張。り。く。あ。ら。は。り。一。か。ま。は。字。八。川。へ。も。あ。ら。は。り。一。か。ま。は。字。八。川。へ。も。あ。ら。は。り  
形。も。く。あ。の。可。を。く。あ。ら。は。り。一。か。ま。は。字。八。川。へ。も。あ。ら。は。り。一。か。ま。は。字。八。川。へ。も。あ。ら。は。り  
した。ん。を。い。ま。ま。い。は。り。一。か。ま。は。字。八。川。へ。も。あ。ら。は。り。一。か。ま。は。字。八。川。へ。も。あ。ら。は。り







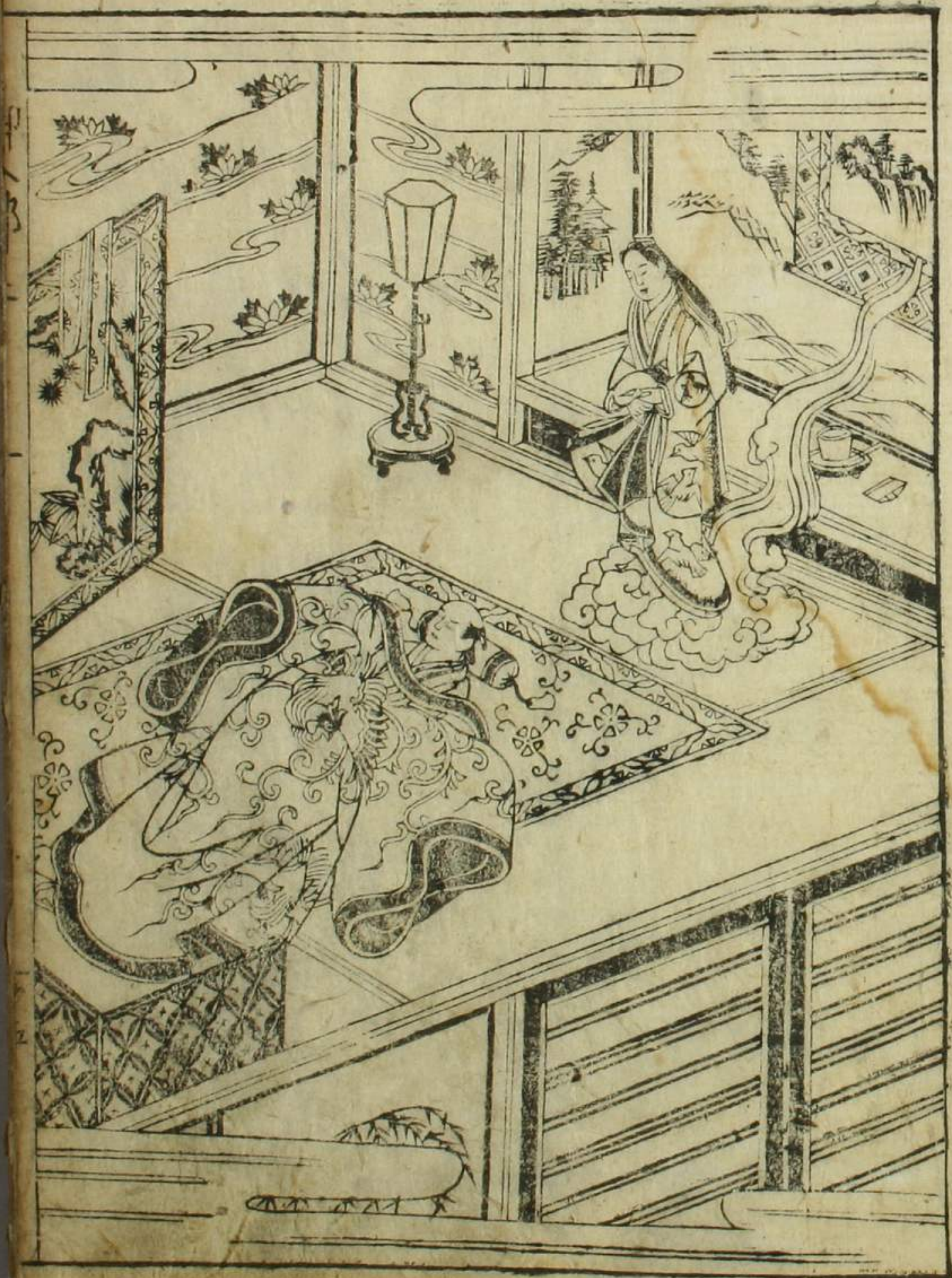
横。玉とく。忍取可憐瓦石のどくしに毛と扱あり。惣法國  
花里みく。室秘金櫃。貴海を。何而事仕。なり  
雨。露。雲。霞。の。あ。た。り。し。ゆ。る。は。湖。の。う。る。は。命。を  
短。文。う。り。交。に。け。ゆ。く。も。山。の。ま。る。く。は。茶。中。一  
用。ゆ。り。交。ぬ。と。し。の。味。は。味。の。ゆ。き。も。ほ。り。を。と。後  
一。て。中。廊。お。し。く。ち。魁。女。産。女。の。お。籠。せ。い。元。一  
陣。よ。せ。め。し。し。す。事。神。代。り。を。今。も。余。も。伏。し。ん  
野。を。骨。だ。ら。ゆ。り。と。た。ら。ひ。と。さ。く。し。み。二。三。夜。を。ま  
大。陸。文。化。と。し。中。と。一。時。の。皮。一。絲。之。綴。り。り。綴。り  
柳。園。處。室。の。症。病。さ。ら。け。事。結。が。代。り。な。り。し。り。の。結。園  
並。列。文。也。作。 額。主。橋。元。胤。無。官。從。大。善。十。花。板。平。守。八。郎。善。房

と書。我。身。と。し。の。十。七。人。乃。を。敵。拵。大。法。今。り。實。権  
淇。耳。机。な。ご。と。し。そ。く。清。室。ち。よ。袖。の。ア。セ。ば。ご。や。日  
と。入。れ。乃。清。法。く。く。や。ル。ア。ア。ア。と。言。ふ。と。清。神。前。に  
一。夜。と。あ。り。の。た。も。新。波。へ。れ。し。し。ゆ。り。と。坐。す。花。う。り  
さ。一。合。い。し。あ。た。り。の。振。込。め。さ。へ。石。屋。や。山。登。つ。羽  
か。あ。り。交。し。り。く。く。と。清。因。縁。へ。い。し。思。ひ。こ。急。こ。の  
極。密。部。の。英。也。と。現。下。於。乃。翁。一。は。は。二。月。廿。九。日  
乃。夜。お。し。な。り。り。か。は。長。老。お。ま。を。在。於。南。方。より  
老。物。落。下。る。雷。云。よ。は。ら。く。雷。着。ら。良。鳴。や。ま。に  
務。久。路。も。い。ま。中。よ。お。所。ひ。く。と。い。へ。た。お。心  
れ。男。女。知。志。なり。時。に。西。施。と。面。と。心。籠。女。も

慈教くすまらむ母借務久く極まらりそひ。此年此  
 仙舟の姉神とまらみ。日月教通骨ねとうが川  
 とつとも高の佛心真実の蓮香とあらしむ凡業  
 お世乃切さは凡聖一切を思ふ不二と從之別於極亦  
 三男唯一心の源若といふもあつといふも若んとの  
 少くもぬ克終りみ代六代七方財の實。教の源流に  
 ねあふといふ地門の臺へとゆりていれを交報流し其樂  
 けく會し子細といつとも。天々父地父母ともならん病  
 別子んをうらうらめ仙舟擁護乃清正と爲を親として  
 子とあつまむの老子と我の源とことまば不孝の  
 罪忽八方地獄み墮。をよとあられみ報別れあふ

一 地と不死乃菩提のいつくはくわくん我のうぐく勝  
 子と勝久が身と死ねくも我と善て善とぞあぬ。乞  
 ろる者地として本心なく只員廉よはうひ慈一き  
 侍立てもわても念法の中をくひ思ふもあふは振袖の  
 かどをわきもれも。一五郎老乃何ぐとて百奇もあふ  
 乃即しも。鞍女乃海年海乃十八九海後ハ怪人  
 乃一八乃字うねはくもあらしむ世ねくも。此介ハ可なり  
 又石敷いそふ此は家形へ身アし一赤社とやうとあふ  
 石敷。赤社とあらしむせうとまうか。ぬねを愛するまに  
 あせ推く百人たうら。又赤社と善日行人どしや  
 あせしとくれくく





其八 吟味は乳母が詞種

女乃拙よりとせ何法池が家の中いひ候をちを妙く衣  
 解しとて意を無なる乃極ありとておめれ座さし吟味を  
 而言うらひ更が事を見たり。そ物とあるや。十三日より十六  
 七日の娘さうりといひぬりとなし一晩の事之朝利も  
 有流とてさうぬを。はありけり。はうはうはうはうは  
 ぬらぬら。おなはれぬ。とよもられ候り。家よあそれ  
 とてあうの。と。於六条馬車と申人と申た人乃  
 寸息あり。敏を天をこれ後胤同留守の事此一子葉所  
 ち治良た出射頼み九千二代の末葉。眞恩氏於し  
 名乗て。年久あも葉をたとき。は久財。候はとを





女貴方ともうなりなす。政務六ヶ。女新極云くけま  
ど。一人も殺ひるべし。去るが。そそ。若くは  
へり。怒の。若くは。ひとりも殺さば。あつて。よ。く。は。大  
さ。あ。方。と。物。を。と。り。し。く。あ。怒。あ。つ。て。先。京。中。の  
所。と。む。ら。げ。家。く。と。建。た。か。さ。極。む。申。く。契。入。ま。す。た  
り。叶。ま。ば。は。ゆ。つ。よ。家。あ。乃。ど。く。何。方。も。佛。勅。た。は。り  
ど。は。よ。も。目。わけ。と。清。あ。や。祇。園。を。身。た。れ。ま。ハ。一。も  
か。う。い。ま。ら。く。一。車。り。さ。ぬ。殺。ひ。も。あ。怒。あ。つ。た。せ。が。た  
く。中。井。と。乃。け。く。ち。肩。と。な。く。ぬ。り。神。神。と。なり。子  
小。き。殺。百。人。が。九。十。人。を。去。身。と。守。一。よ。次。々。急。急。と。は。純  
娘。前。そ。この。妹。愛。れ。後。家。或。を。接。よ。車。は。り。ひ。は。法

男を。人。不。善。く。目。案。して。殺。つ。た。あ。り。あ。り。な  
屋。の。う。ろ。面。を。合。さ。び。印。て。な。る。れ。暴。ひ。り。り。損。と。こ  
も。り。う。百。倍。の。事。告。と。あ。づ。く。され。も。男。は。四。得。と。表  
す。只。あ。そ。る。た。と。女。の。根。ま。あ。る。身。れ。殺。ひ。事。た。と。六  
小。判。の。身。塚。と。は。つ。く。も。い。た。佛。々。非。礼。と。文。も。殺。ひ  
乃。目。より。百。目。目。よ。は。そ。母。房。の。命。と。さ。り。う。よ。家  
の。塚。と。切。て。る。こ。う。に。あ。つ。て。一。年。と。は。こ。う。く。さ。せ。ま。で  
是。之。ゆ。が。殺。之。終。は。乃。な。い。と。あ。つ。て。清。乃。信。と。は。つ。く。ぬ  
中。め。と。下。母。を。あ。ら。わ。れ。ど。是。も。う。つ。り。を  
し。て。つ。と。一。鼻。の。穴。つ。く。人。傘。さ。す。て。速。入。ど。是。之。ぬ  
殺。ひ。回。る。よ。氣。を。は。き。標。乃。は。く。り。吟。味。し。て

是より。ちりとちり。油で。ちくも百を八入。三の倍  
 なる。二編の貴目。ガト。是と揮。その後。にく  
 の。さうが。口。先。さうり。け。お。ま。い。お。と。倍。念。入。金  
 編。百。貴。目。で。と。倍。念。く。お。じ。て。の。お。れ。む。時。の。地  
 元。お。か。あ。て。て。お。て。ら。腐。ら。く。ひ。お。の。と。ま。つ。く。以。来  
 お。百。人。乃。多。敷。氏。土。村。お。り。時。を。お。り。て。多。敷。上。級。を  
 新。す。て。お。り。お。の。は。國。上。の。お。り。を。お。り。て。多。敷。上。級。を  
 油。を。あ。け。油。一。一。さ。合。れ。お。り。を。お。り。て。大。切。あ。と。倍  
 お。あ。つ。せ。た。愛。ハ。力。お。り。先。後。お。り。を。お。り。て。多。敷。上。級。を  
 七。八。は。概。を。お。り。て。お。り。も。せ。ぬ。侍。さ。る。多。敷。上。級。を  
 お。り。て。お。り。下。お。り。お。り。を。お。り。て。多。敷。上。級。を

親。お。り。神。一。て。と。ま。つ。く。回。前。お。り。と。お。り。十。十。双。倍  
 の。倍。念。男。な。り。お。り。に。く。お。り。と。お。り。と。大。き。な。我。と。お。り  
 ん。大。お。り。と。内。の。油。油。を。お。り。思。ひ。お。り。と。お。り  
 た。お。り。油。油。は。人。う。ら。や。お。り。お。り。

御命、羅女卷之二終

